

第8回アジア・スマートシティ会議を開催します ASEAN、G20 と連携して、横浜から先進的なまちづくりの取組を発信

アジア新興国諸都市の代表者や、企業・国際機関等の有識者が一堂に会し、持続可能な都市づくりの実現に向けた議論を行う「第8回アジア・スマートシティ会議（ASCC）」は、このたび、**ASEAN や G20 のスマートシティのネットワークの会合（※）と連携し、「アジア・スマートシティ・ウィーク（ASCW）」として、初めて一体的に開催**します。

これにより、スマートシティの取組を横浜から国内外に力強く発信し、アジアにおけるスマートシティ開発に向けた情報のハブとしての役割を一層高めるとともに、SDGs など国際社会の目標達成への貢献を目指します。また、海外の都市づくりに関する情報や人が集まる機会を利用して、新たなビジネス機会を創出し、市内企業の海外インフラビジネスの展開を一層推進します。

※日 ASEAN スマートシティ・ネットワーク ハイレベル会合（ASCN）：国土交通省主催

グローバル・スマートシティ・アライアンス設立会合（GSCA）：

内閣府・世界経済フォーラム第4次産業革命日本センター主催

第8回アジア・スマートシティ会議（ASCC）概要

【開催期間】2019年10月8日（火）から11日（金）まで

【主催者】横浜市

【共同運営者】世界銀行東京開発ラーニングセンター、アジア開発銀行研究所

【会場】ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル3階会議室フロア


【テーマ】マーケットプレイスを通じた新たなビジネス機会の創出に向けて

【参加予定者】**海外都市**：セブ（フィリピン）、ダナン（ベトナム）、バンコク（タイ）などアジア太平洋地域を中心に約30都市

国際機関：世界銀行、アジア開発銀行 等

企業等：一般社団法人YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE 会員企業をはじめとする国内外の企業

【プログラム】（詳細は別紙参照）

10/8（火）	午前 ASCW オープニング 夕方 ASCW レセプション ※日中、ASCN のセッション等があります。	終日 ビジネス・マッチング・ ステージ（ブース展示、 セミナー、マッチング 等）  (前回会議のビジネスマ ッチングの様子)
10/9（水）	※ASCN のシンポジウム・官民マッチングセッションや、GSCA の設立会合などがあります	
10/10（木）	午前 分科会（廃棄物、水・排水処理、防災・減災、交通、省エネ・再生エネ、スマートな都市開発等） 世界銀行セッション、SDGs ビジネスセミナー 午後 分科会（都市課題解決に向けたナレッジハブの役割等）、アジア開発銀行セッション、 横浜ユースイベント2019 クロージング・セッション、横浜宣言 夕方 ASCW レセプション	
10/11（金）	午前 視察（港北ニュータウン、食品リサイクル・バイオガス発電工場等）※ASCN との共催	

【第8回アジア・スマートシティ会議の特徴】

① SDGsなど国際社会の目標達成に向けた発信

- 参加各都市、関係機関及び企業との共通理解を図る絶好の機会としてアピールするセミナーなどを開催します。
- **都市課題、ソリューション、ファイナンス等をセットで議論し、その結果を「横浜宣言」として世界に発信**することで、SDGsの達成に貢献していきます。

② 他の国際会議や国際機関との連携を通じた横浜の発信力の向上（情報ハブとしての役割促進）

- 国土交通省が主催する「日 ASEAN スマートシティ・ネットワーク ハイレベル会合」及び内閣府・世界経済フォーラム第4次産業革命日本センターが主催する「グローバル・スマートシティ・アライアンス設立会合」と連携開催することで、**スマートシティに係る取組を横浜市から国内外に力強く発信**します。
- 昨年度に引き続き、世界銀行東京開発ラーニングセンター及びアジア開発銀行研究所の協力を得ることで、招聘都市数の増加や多様なスピーカーの確保など、**会議コンテンツの拡充**を図っています。

③ 持続可能な都市づくりに関するビジネス機会の創出（「マーケットプレイス」の構築）

- 10月8日から10日の3日間、ビジネスマッチングイベントを開催するなど、会議全体を通じて、**市内企業と海外都市・企業とのネットワーキングの機会を提供**し、スマートな都市づくりに関する企業のビジネス機会の一層の創出を目指します。

取材申込方法

10月4日（金）17:00までに、以下のeメールアドレスあてに、①～⑤についてご連絡ください。

- ①貴社名、②代表者お名前・電話番号、③人数、④撮影の種類（例：ムービー／スチール撮影）、⑤取材を希望されるイベント

【取材申込み先】eメールアドレス：ki-asca@city.yokohama.jp

※会議当日は、ホテル3階ボールルーム前の受付まで直接お越しください。

「アジア・スマートシティ会議」について

横浜市では、市内企業の海外インフラビジネス展開や新興国諸都市の都市課題解決支援を進めるため、公民連携による国際技術協力事業（Y-PORT事業）に2010年度から取り組んでいます。

また、昨年の「SDGs未来都市」選定や、今世紀後半のできるだけ早い時期にゼロカーボンの達成をゴールに掲げるなど、多様なステークホルダーと連携し様々な取組を展開しています。

このような背景のもと、横浜市では、アジア新興国諸都市、国際機関、学術機関、民間企業等の代表者が一堂に会し、経済成長と良好な都市環境が両立する持続可能な都市づくりの実現に向けた議論を行う「アジア・スマートシティ会議」を2012年から毎年開催しています。



【第7回アジア・スマートシティ会議の様子】

お問合せ先

会議全般に関すること	国際局国際協力課国際技術協力担当課長	西山玲子 Tel 045 - 671 - 4706
SDGs 未来都市に関すること	温暖化対策統括本部SDGs未来都市推進課担当課長	大蔭直子 Tel 045 - 671 - 2477

連携開催する国際会議

◆「日 ASEAN スマートシティ・ネットワークハイレベル会合（ASCN）」（国土交通省主催）

○国土交通省は、昨年の日 ASEAN 首脳会議で安倍総理から発言されたように、ASEAN スマートシティ・ネットワークへの協力を推進するため、「日 ASEAN スマートシティ・ネットワーク ハイレベル会合（ASCN）」を、ASEAN 諸国及び国内関係省庁と連携して開催します。

○ASEAN と日本が協力して ASCN 各都市におけるスマートシティを推進するため、本会議において、ASEAN 側のニーズや日本側のノウハウ・技術を共有するとともに、官民のマッチングの場を提供します。

・ASEAN スマートシティ・ネットワーク：

2018 年に ASEAN 議長国シンガポールが提案した ASEAN 加盟各国のそれぞれ 3 都市程度がスマートシティ開発のために協力するためのプラットフォーム（ASEAN10 カ国の 26 都市が実証都市）

・ASCN の目標：

- ▶ スマートシティ開発について実証都市間の協力促進
- ▶ 民間と協力しての有望なプロジェクト開発
- ▶ 域外のパートナーからの資金調達等の協力促進

【お問合せ先】

国土交通省 総合政策局国際政策課（グローバル戦略）

長谷川、上林、片田、斎藤 Tel 03-5253-8314

◆「グローバル・スマートシティ・アライアンス設立会合（GSCA）」

（内閣府・世界経済フォーラム第 4 次産業革命日本センター主催）

○日本政府は、本年の G20 プロセスにおいて、世界のスマートシティ間の連携を提言しました。本年 6 月に開催された、つくばでの G20 貿易・デジタル経済大臣会合で「グローバル・スマートシティ・コアリション（アライアンス）」（※）設立の奨励がされたことを受け、内閣府と世界経済フォーラムの共催により、世界各国の都市の参画によるグローバル・スマートシティ・アライアンスの設立会合を開催します。スマートシティの効果的・効率的な運用に資する共通認識を醸成する活動を開始します。

※各都市がベストプラクティスや課題を共有しながら、政府や住民、民間企業とともにスマートシティの実現を目指すグローバルな都市間連携の新しい枠組み

・GSCA の目的

- ▶ 都市間のネットワーキング及び経験の共有
- ▶ 都市におけるデータとデジタル技術のガバナンスのための共通指針となる原則を検討し、各都市における共通指針の採用を推進

・GSCA の活動

- ▶ 共通指針のもとに都市のステークホルダー（自治体、中央政府、民間セクターのパートナー、都市住民等）が連携協力することで、スマートシティ技術の実装を進め、スマートシティの透明性、開放性、システムの相互運用性を向上
- ▶ 公益のためにスマートシティ技術を効率的に活用し管理するためのツールを各都市に提供

・GSCA 参加メンバー

- ▶ 関心を有する国内外の都市の自発参加

【お問合せ先】

内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付参事官（統合戦略担当）付

吉川、夜久、土屋 Tel 03-6257-1169

世界経済フォーラム第 4 次産業革命日本センター 平山 Tel 070-2100-1867